

「夢」

大中山中学校2年 富原 菜摘

私は10月28日～11月7日まで、まるで夢のような日々を過ごしました。

まず私たちは、函館空港に集合し、そこから羽田空港へ行き、リムジンバスで成田空港へ行きました。そしていよいよ、出国の時間が近づいてきました。といっても、その時私は全く実感が沸かず、目の前の搭乗手続きの事だけを考えているだけでした。そして、約13時間のフライトを終え、ボストンに到着！初めての外国。日本とは違ったものが少し目に入っただけで、とても気持ちが高ぶりました。

そこからはスクールバスで、コンコードの方々が開いてくださった歓迎会の会場へ行きました。交流員のみなさんの名前とともに、ホストファミリーの方の名前も順々に呼ばれて行きました。誰が私のホストファミリーなのだろう・・・と、少し体を強張らせながら前へ出ました。お母さん、お父さん、マックス君、ベスちゃんと握手をし、席に着きました。ですが、体調がすぐれず、緊張でがちがちになってしまい全く話すことができませんでした。

私のホストファミリーは、お父さんのファインバーグさん、お母さんのスーザンさん、日本のアニメが好きなマックス君、妹のベスちゃんと犬のシュガーちゃんです。みんな、ほとんど英語が話せない私を暖かく迎えてくれました。

歓迎会の次の日、10月29日～11月3日までがホームステイの期間でしたが、その間にたくさんの事を学び、たくさんの思い出が出来ました。アメリカの学校では、黒板ではなくホワイトボードとスクリーンを使って授業をしていました。私がうけた授業は中学3年生の音楽、国語、数学の3時間だけでしたが、どの先生もやさしく接して下さり、緊張せずに見学する事が出来ました。それから中高生のみなさんと集合し、カーライル高校がやっているラジオに出演しました。それからみんなと固まって行動しました。いろんな教科の授業中や部室などを見せていただきました。本当にたくさんの教室や部室があり、とても広かったです。次の日からは、登下校はマックス君と一緒にすごし、授業中はスクールバスでオーチャー

ドハウスやセーラム市へ行き、アメリカの文化や歴史をたくさん学ぶことが出来ました。

休日にはホストマザーのスーザンさんと一緒にお買い物へ行き、そこでブランケットとベスちゃんとおそろいのレグウォーマー、リップクリームとマニキュアを買ってもらいました。

11月2日、日曜日。アメリカで初雪が降りました！

私のホストファミリーのみんなは、引っ越してきたばかりで長らく雪を観ていなかったそうで、とても喜んでいました。そしてご飯はイタリア、インドや日本などの色々なレストランに連れて行ってもらいました。その中でも特に印象に残っているのが、お寿司です。私のホストファミリーがワサビをたっぷりつけて食べていたことに、とてもびっくりしたのを覚えています。

コンコードでは、たくさんパーティーを行いました。

私の中でアメリカは、とてもパーティーをよくしているイメージでしたが、本当にその通りなのだかと身にしみて感じました。

ハロウィンパーティーなど、イベントごとに行うパーティーや、私たちを歓迎してくれた歓迎会など、その他本当にたくさんのパーティーに連れて行ってもらいました。

そして、ホストファミリーと一緒にいられる最後の日。

「あなたがいなくなるととても寂しいわ」と、スーザンさんがおっしゃって下さり、だまってハグして下さり、もう会えなくなると思うと帰るのがとても辛くなりました。

はじめは全く話せずにとっても迷惑をかけてしまいました。ですが、だんだんと耳が慣れていき、意思疎通を図れるようにまでなりました。

そんな風になれたのも、ホストファミリーのおかげだと思っています。

そしていよいよカーライル高校とのお別れの日。

最後にマックス君と写真を撮り、バスに乗り込みました。バスの外からは何も見えないはずなのに、たくさんの人が手を振ってお見送りして下さいました。

その後はプルテンシャルタワー展望台、ダックツアー、ジョンFケネディさんの生家などへ行きました。夜はボストンのホテルに泊まりました。

それからは、直ぐに出国の日は近づいてきました。気がつけばもう成田にいて、羽田にいて、函館に帰ってきていました。それほどアメリカでの生

活は濃いものとなっていたのだと思います。
この海外派遣で私は、日本とアメリカの食生活や文化の違いが思っていたよりも全く違っていたものだと実感しました。

正直、コンコードへ行っても、あまり実感がわかず、不思議な感覚でした。

この海外派遣で私は、夢を一つ、持つことが出来ました。
今まで私は、はっきりとした夢を持っていませんでした。
ですが、アメリカで流暢に英語を話していた大人の方々がとてもかっこよく、日本に帰って来てから私もあんな風にかっこよく外国人と話せるようになりたい、外国語を話す仕事についてみたいと思いました。

コンコードに行ってみて、とても大沼に雰囲気似ているなあと思いました。何ととってもアメリカは、人、器、建物、食べ物がとても大きかったです。日本と同じ虫や花、葉でも、「外国の」虫、「外国の」花、「外国の」葉というだけで、とても特別なもののように感じました。
この派遣では、外国の方々との交流だけでなく、大人の方々やほかの学校の生徒とも交流出来たので、とても良かったです。

この貴重な体験で学んだことを、今後の生活に活かしていければなと思います。

☆セーラム市で撮った海！☆



☆憧れのスクールバス！☆

